「現在・過去・未来、そして自分を見つめる修学旅行」

～総合的な学習の時間とリンクした実践的な取り組みを通して～

行田市立埼玉中学校　教諭（学年主任）　桜井　信雄

１、はじめに

２、テーマについて

３、研究の実践

(1)総合的な学習の時間とのリンク

ア、３年間を見通した総合的な学習

イ、総合的な学習の時間と学校教育諸活動等とのリンク概念イメージ図

(2)１、２年での取り組み

ア、スキー林間（１年）

イ、川越一日探検（２年）

ウ、クリーンアップ大作戦（２年）

エ、職場体験と上級学校訪問（２年）

(3)３年での総合的な学習の時間の取り組み

ア、オリエンテーションの大切さ

イ、事前学習と事前指導

(4)１８年度修学旅行の概要

ア、日程

イ、班別コース

ウ、個人と班のテーマ及びコースの関係

(5)キャリア教育と体験学習の場としての「私のしごと館」

ア、そのコンセプト

イ、体験学習の一覧と実際に体験した講座

ウ、利用してみて

(6)事後指導の充実

ア、修学旅行をふりかえって

イ、旅行後のまとめと発表

(7)環境及び防災学習としての取り組み

ア、１７年度　環境やエネルギーの未来を見すえた愛地球博を取り入れた修学旅行

イ、１９年度　地震や災害に対する意識を高める奈良・京都・神戸の修学旅行

４、成果と課題

１、はじめに

本校は行田市の南部に位置し、まさに埼玉県名発祥の地「埼玉（さきたま）」にある、緑豊かな自然に恵まれた、生徒１７２名の小規模校である。学区には国宝辛亥銘鉄剣出土の稲荷山古墳を含む我が国有数の大型古墳群が存在し、「さきたま風土記の丘」として古墳公園があり、地域をあげて世界遺産への登録を進めている。生徒は素直で、埼玉小一校からそのまま中学校へ入学し、９年間一緒に生活しているため、お互いよく理解し合っている。反面、他の世界からの刺激が少なかったり、人間関係作りが得意でないなどの課題が存在するのも事実である。

平成１７年度から『埼中教育改革元年』として２学期制の導入や２１ｋｍ耐久ウォーキング大会の実施等の目に見える改革を進めてきた。修学旅行についても、先進的な校長先生の考えで１７年度「愛地球博」、１８年度「私のしごと館」、１９年度神戸見学という新たな試みが取り入れられた。このような流れと生徒の実態を踏まえ、総合的な学習の時間とリンクした修学旅行の実践を報告したい。

埼中３つのほこり

１、あいさつがよくできる
２、学校がきれいだ
３、けじめある生活ができる
（時間と服装）

校訓　「本気でやれば何でもできる」

２、テーマについて

現在・過去・未来、そして自分を見つめる修学旅行」

～総合的な学習の時間とリンクした実践的な取り組みを通して～

現在、交通網の発達により、生徒の旅行の機会は昔に比べ格段に回数も多くなり、広範囲になっている。修学旅行も京都、奈良の伝統文化に触れ、様々な体験学習をするのでは、楽しい思い出で終わってしまう。そのためには、総合的な学習の時間との有機的な関連を持たせた取り組みは不可欠であり、３年間を見通した取り組みでなければならない。

確かに従来の伝統文化に触れ、様々な体験学習をすることにも意義があり、一生の友と一生の思い出作りをすることも大いに修学旅行の目的のひとつである。しかし、修学旅行がそれだけで存在するのではなく、３年間の学習の総括であり、また新たな学習と体験の場であり、それが未来の自分に生かせるものであって欲しいと思う。行事があるからやるのではなく、目の前の子ども達に知ってほしい、学んでほしい、味わってほしい、そして身につけてほしいことがあるからこそ、絶好のチャンスとして意図的な行事を企画して行かなければならないと考える。

今までも「自分探しの旅」として、有意義な学びと体験のできる修学旅行を目指し、取り組んできた。そして今回、自分だけでなく、自分が今生きている社会、地域、家庭の現在・過去・未来も見つめて、その後に生かすための学びができる旅を目指し、ひと工夫加えてみた。そんなちょっと欲張りな修学旅行に挑戦してみることで、また新たな修学旅行の形が見えてくると信じて。

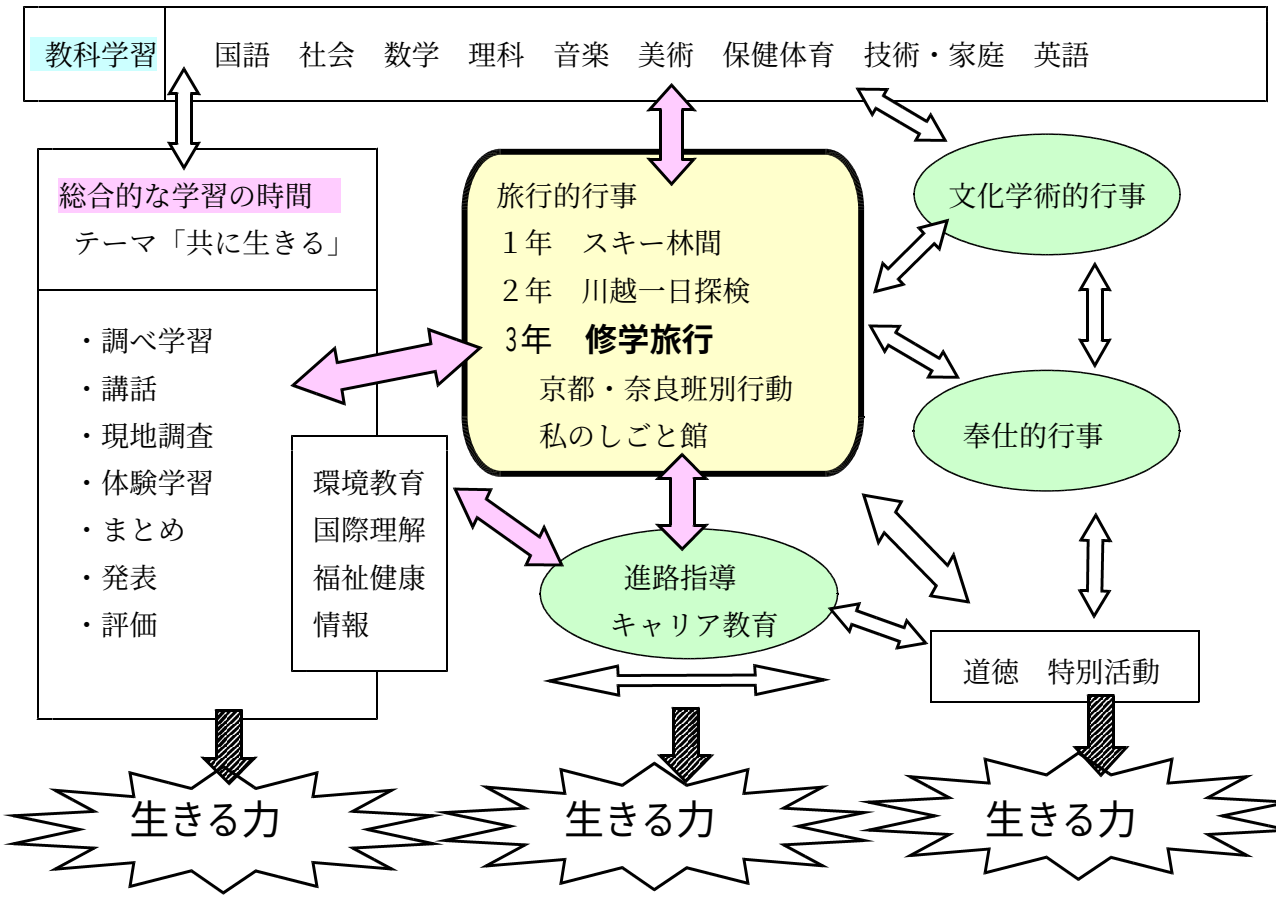
3、研究の実践

(1)総合的な学習の時間とのリンク

ア、３年間を見通した総合的な学習の時間　（学校テーマ「共に生きる」の学習の流れ）

		学習の主な柱及び内容	学級活動及び学校学年行事等との関連
1年	地域を知る 70ｈ	・基礎講座「学び方を学ぼう」 ・地域を知ろう（校外学習） ・テーマ学習 ・障害について学ぼう ・地域を知ろう（他の地域との比較）	○校外学習 ○養護学校との交流会 ○スキー林間（嬬恋高原）
2年	地域と生きる 85ｈ	・地域の環境の実態を知ろう ・県内の他の地域を知ろう ・地域の高校を知ろう ・福祉についてもう一度考えよう ・「働くこと」を学ぼう ・地域の働く人から学ぼう	○クリーンアップ大作戦 ○川越一日探検 ○上級学校訪問 ○養護学校との交流会 ○職業講話 ○職場体験
3年	未来に向かって 95ｈ	・学びの目を世界に ・自分を知る ・福祉体験 ・テーマ学習 ・情報発信	○修学旅行 ○自己分析 ○目かくし散歩、車いす体験等 ○メディアを活用した発表 ○卒論の制作　製本

イ、総合的な学習の時間と学校教育諸活動等とのリンク概念イメージ図



(2) １、２年での取り組み

ア、スキー林間（１年）

嬬恋高原を舞台に、スキーと大自然、そして行田との地域の違いをテーマ学習の柱として旅行的行事を関連させて取り組んだ。１月に実施のため、１１月から総合的な学習の時間とリンクさせて学習計画を立てた。ビデオで動機付け、課題設定、調べ学習、現地調査、まとめ、発表のプロセスを体験させることができた。スキー技能の習得だけでなく、実行委員のリーダー指導、クラス作り、集団作りにも役立った。

イ、川越一日探検（２年）

駄菓子屋横町での交流

３年次の修学旅行へつなげるべく、実行委員会を組織して、川越を舞台にテーマ学習と旅行的行事を関連させて取り組んだ。５月に実施したため、クラス作り、集団作りにも役立った。

川越一日探検　行動計画一覧

班	班　別　自　主　行　動　の　コ　ー　ス
１－１	甘味あかりや→亀屋本店→時の鐘→資料館→大沢家→駄菓子屋→てんこもりラ→喜多院
１－２	本川越駅→芋十→喜多院→頑者→時の鐘→駄菓子屋横町→蓮馨寺→てんこもりラーメン
１－３	熊野神社→三芳野神社→氷川神社→広済寺→蔵の町並み→時の鐘→ラーメン屋→駄菓子屋
１－４	蔵の町並み見学→喜多院→川越菓匠くらづくり本舗→花万木→時の鐘→カフェエサゴーノ
１－５	川越八幡宮　→　花万木　→　幸町
１－６	りそな銀行→時の鐘→蔵造り資料館→甘味かすが→駄菓子屋横町→マスコ→甘味あかりや
２－１	時の鐘　→　倉造り資料館　→　お祭り会館　→　頑者　→　駄菓子屋横町
２－２	コンビニ　→　駄菓子屋横町　→　川越歴史博物館　→　喜多院
２－３	妙善寺→時の鐘→　駄菓子屋横町→　見立寺→　菓子屋の近くの店→　福呂屋→　おさつ
２－４	歴史博物館　→　喜多院　→　コンビニ　→　公園　→　駄菓子屋横町
２－５	中央通り→倉造り資料館→時の鐘→大八勝山→駄菓子屋横町→はるり銀花→かめ屋
２－６	中央通り→熊野神社→蔵の町並み（時の鐘）→うどん処春夏秋冬→駄菓子屋横町→喜多院

ウ、クリーンアップ大作戦

１６年度は地域にある市のクリーンセンター見学と関連させたが、１７年度は地域の方と協力して学区内のゴミ拾いの清掃活動を通して環境を考える機会を持った。生徒は集まったゴミの多さや、悪質なポイ捨ての実態、モラルの低下等を体で感じることができた。そして、地域の一員として、ゴミを出すことの意味をつかんだようだった。

＜２年総合的な学習の時間　（地域との共生イメージマップ）＞

この資料を使ってテーマ設定の参考にさせた。

エ、職場体験と上級学校訪問

平成１７年度職場体験学習でご協力いただいた事業所は下表の通りである。キャリア教育では、生徒一人ひとりに望ましい勤労観や職業観を育成することが必要である。そのためには、「体験に勝る学習なし」である。

本校では２年次に３日間職場体験を実施し、地域で働く人の姿を見て多くのものを学ぶ機会を持っている。事前学習として、行田公共職業安定所ハローワークからジョブサポーターの職業講話を聞いたり、ＮＨＫの職場体験を扱った「大人ってすごい」や「明日をつかめ　平成仕事図鑑」の番組を視聴させた。これらの取り組みにより、「働くことの大変さと大切さ」を学ぶことができるとともに、自分（達）の住む地域で、このように働いている人がいるからこそ社会が成り立っているという実感が持てたことがとても大事だった。自分のなりたい職業だけを追い求めるだけでなく、「社会の中の自分」の役割に気づかせることで「働くこと」を意識させたいと考えた。

＜平成１７年度　職場体験学習でご協力いただいた事業所＞

	職　種　別	事業所名	職場体験学習の内容	人数
1	食品製造	まにわ製麺	製麺の製造　　袋詰め	2
2		ホリーズ	パン製造、販売	3
3	飲食業	ゆもと	フロント手伝い、ホール手伝い、清掃	3
4	建設業	鈴和建設	測量、現場での作業	4
5	自動車整備	トミタ自動車	洗車、タイヤ交換、工場の整理	4
6	園芸業	山本園芸	花の手入れ、鉢植え等	4

7	販売業	ベルク行田　南店	店の掃除、包装、商品の陳列	3
8		アピタ吹上店	パック詰め、商品陳列	3
9		小山商事リカリッシュ	掃除、包装、商品の出し入れ、レジ	2
10	保育関係	やなぎ幼稚園	教諭の補助（紙芝居、お話）	3
11		埼玉保育園	保育士の補助	3
12	医療関係	ヘリオス会病院	ベッドメイク、食事介助	3
13		行田協立診療所	デイサービスのお手伝い	3
14	社会福祉施設	川里苑	リネン交換、食事介助、入浴介助	2
15	公共施設	行田消防署（本署）	救助訓練、体力づくり	2
16		行田市郷土博物館	資料の整理、文化財の清掃	3
17		行田郵便局	郵便物の仕分け、事務お手伝い	2
18		行田図書館	本の貸出し、返却、本を書庫に戻す	3
19	美容関係	ヤマギワ美容院佐間店	清掃、洗濯、美容業務など	3
20	情報通信	行田ケーブル TV	番組作り、編集	3

スーパー

介助

消防署

体験を終えて、学年で発表会を行い、優秀な班が PTA の席でステージ発表した。消防署から実際に借りてきた防火服の早着替えや車椅子の介助の仕方を実演したり、コンピュータを効果的に使って発表できた。発表会では「発表名人をさがせ」という評価表で相互評価し合い、プレゼンテーションの力を高められるよう配慮した。

＜１７年度上級学校訪問校＞

また、平成１７年度の埼玉中学校第２学年上級学校訪問校は右表の通りである。生徒からあらかじめ訪問したい高校をアンケート調査し、希望の多かった私立高校と公立高校を２校組み合わせ、１２のコースを作成し、生活班で選ばせた。自分の進学したいというだけでなく、地域にある上級学校の調査と報告が一番の目的であることをおさえさせた。

そのため、事前学習として３年生から高等学校のパンフレットを借りたり、インターネットのホームページを見て調査をまとめ、質問を考えて訪問させた。そして、帰ってきた生徒の、目を輝かせて興奮ぎみに高校の様子を話す姿が印象的だった。訪問後は報告レポートをまとめて廊下掲示し、クラスで発表会を開いて情報の共有化を図った。

	訪問校 （コース順）	
1	春日部共栄	羽生実業
2	佐野日大	羽　生
3	成徳深谷	不動岡
4	上　尾	埼玉栄
5	花咲徳栄	羽生第一
6	熊谷工業	本庄第一
7	足工大	進修館
8	本庄東	熊谷農業
9	正智深谷	熊谷商業
10	熊　谷	農大第三
11	伊奈学園	栄　北
12	大宮開成	鴻　巣

(3) ３年次　総合的な学習の時間の取り組み

ア、オリエンテーションの大切さ

導入の意識づけ、見通しをもたせることにも力を入れた。　　配布資料（抜粋）

クリエイト Myライフ 2006

学年テーマ　『共生　－ 未来に向かって －』

前期テーマ「広げよう！学びの目を世界に」

後期テーマ「自分を見つめ　創造しよう！　新たな自分」

１コンセプト（基本構想）

昨年は前期で川越一日体験で埼玉の他地域との比較、クリーンアップ大作戦で環境について学び、後期は上級学校訪問と職場体験で自分の未来を意識できました。では今年は、さらに日本や世界へと視野を広げ、それらを自分の未来に役立てる学習を行います。そして、各自のテーマを設定し、いろいろと調査研究したことを自分の未来と結びつけて、新たな考えや価値を付け加えて情報発信していきましょう。

２ねらい

(1)自分の進路を切り開いていくために、将来の自分に役立つ情報を過去の歴史や現状から学ぶために興味・関心のあるテーマを設定し学習を深める。

(2)京都、奈良の伝統文化の学習課題を設定し、修学旅行時にフィールドワークや体験学習を行い、課題解決をしていく。

(3)意外と知っているようで知らない本当の自分の姿。自分自身を見つめ直し、将来の自分を設計・創造していく。

(4)思っていること、考えていることをまとめ、わかりやすく表現する能力を高める。

３学習計画

＜前期＞　視野を広げよう

昨年、地元行田と川越を比較して地元を見直したり、再発見したこともたくさんありました。それでは範囲をさらに広げたらどうでしょう。今度の修学旅行では、その調査や体験の絶好のチャンスです。　学習の流れは以下のようになります。

事前学習 →テーマ設定・学習計画→調べ学習→修学旅行での追究または体験学習→まとめ→発表

※福祉や人権についての学習も含む

＜後期＞　未来に生かそう

※自分の将来や就きたい仕事に関する個人テーマを設定して学習を進める

※自分史のまとめと情報発信（卒業論文として）

学習計画＜前期＞

月　日（曜）	学　校　行　事	学　習　計　画
4月　２０（木）		・オリエンテーション　事前学習
２１（金）		・テーマ設定　ジャンル選択　学習計画立案
		・班行動コース作り
5月　１１（木）		・コース検討・修正
１２（金）		・コース最終決定
１８（木）		・事前学習
１９（金）		・質問・疑問集約　課題整理
２５（木）	修学旅行～２７（土）	・調査研究、現地学習、体験、検証等
6月　１（木）		・結果の集計、データのまとめ、課題解決
２２（木）		・修学旅行のまとめクラス発表（各班）
２３（金）		・発表名人（班）選出
１２(水)		・福祉、人権について　調べ学習
		・夏期休業中にも課題を進める
9月　２２（金）	期末ＰＴＡ	・ＰＴＡ　学習成果発表会（代表班）

＜提示した学習テーマと関係する職業の例＞

ジャンル	学　習　テ　ー　マ　の　例	関係する職業例
A 歴史１	①古墳対決　丸墓山対高松塚、石舞台	考古学
（奈良）	②京都と国風文化、北山文化、東山文化桃山文化を訪ねて	博物館文芸員
（京都）	③坂本龍馬の足跡をたどる　新撰組と行田	歴史研究家
B 文化１	④文学の世界に描かれた奈良、京都を巡る旅	作家、書家、芸能関係
芸能芸術	⑤舞妓さんを探せ　古典芸能と奈良、京都	美術関係
服飾関係	⑥ファッション　今と昔　そして関東関西比較	美容・服飾 編集・出版
文化２	⑦関西食文化と関東を比較　茶道のルーツを探る	調理師　栄養士
飲食業	⑧特産物、郷土料理、名物　ゼリーフライは通じる？	飲食店　パティシエ
サービス	⑨手作りに挑戦　八つ橋作り	和菓子作り　茶道家
C 建築・	①近畿地方の気候と風土と行田の住まいの違いは？	建築士　大工
造園・	②観光都市京都のゴミ問題、観光と自然保護	設計技師　都市計画
環境	③法隆寺と清水の舞台を徹底解明　木造建築の匠対決	造園業
D産業	①伝統工芸に挑戦　扇子、友禅染、清水焼 etc	工芸　服飾関係
観光・	②関西の米づくりと京料理　京野菜	農業　調理師
商業	③京都の観光と街作りに学ぶ　行田の発展のために	観光課　販売員
E福祉・	①バリアフリーの街作り　京都、奈良の街は？	医療関係介護　福祉士
人権	②ユニバーサルデザイン　京都、奈良の駅は？	設計技師
	③標識の常識・非常識	デザイナー
F外交	①国際都市京都の目指す道　文化遺産と国際交流	外交官　ＦＡ　通訳
国際理解	②京都、奈良で外国の人と触れ合おう	英語教師　ツアーコン
文化交流	③関東の常識は非常識？　エスカレーターはどっち空け？	ダクター

＜修学旅行における総合的な時間のテーマと体験学習の考え方＞

(1)基本的な考え方

修学旅行は単なる観光旅行ではなく、貴重な現地学習のチャンスです。名所や神社仏閣を見るにも、「こだわり」や「テーマ」を持って有意義な「自分探しの旅」にしてほしいのです。学習のテーマは文化的に価値ある内容にして下さい。

(2)具体的には

１日目（半日）と２日目（１日）の班別行動と３日目（半日）クラス別行動の中で、総合的な学習の時間のテーマを追究するための時間や体験をする時間を組み入れ、有名な神社仏閣や観光地の見学と組み合わせて下さい。同じ見学地でも、テーマについて調べることや質問、疑問を持ち、見る視点がはっきりしていればわかること、感じることも違ってくるはずです。

例：　「京都、奈良の伝統工芸はいつ、どのように生まれ、いまどう守られているか？」

コース　清水寺見学→二年坂三年坂→お土産（友禅染をチェック）→京都産業物産館見学
→友禅染体験→インタビュー→お昼（湯豆腐で京料理も研究）→金閣寺見学

＜実際の修学旅行　個人テーマ例＞

「世界遺産を巡ろう」「京都･奈良の歴史について」
「京都･奈良の文化を知ろう」
「京都･奈良の文化（町並み･建造物）について」
「歴史ある京都･奈良と行田を比べる」
「京都･奈良と行田の違いを知る」
「京都･奈良の食文化の違いについて」
「伝統料理について」
「外国人とコミュニケーション」「国際交流をする」
「京都･奈良の伝統工芸品について」

【各班のテーマ】

班	奈　　良	京　　都
１－１	東大寺の彫刻を見て学ぶ	昔の建造物と今の建造物を見比べる
１－２	世界遺産を巡ろう	京都の歴史を学び　行田と比べる
１－３	奈良の歴史を学び　行動する	京都の歴史を学び　仲良く楽しく行動する
１－４	文化財を見よう	京都の街並みと行田の街並みを比較しよう
１－５	奈良の歴史を学び	京都の良さをたくさん知ろう
１－６	古き良き奈良を実感しよう	古都の街並みと現代の比較
２－１	奈良の伝統工芸を学ぼう	京都と行田の食文化のちがい
２－２	歴史ある奈良を満喫しよう	古き良き伝統を見る
２－３	奈良の文化を学ぼう	食文化を学ぼう
２－４	奈良の歴史にふれる	外国人とコミュニケーション and 文化を学ぶ
２－５	奈良の伝統とふれあおう	伝統を食う
２－６	奈良の自然と向き合い　ふれる	国際交流と京文化を学ぶ

イ、事前学習と事前指導

修学旅行での学習効果を高めるためには、事前の学習が重要である。そのため、各教科ともタイアップし、以下のような指導を行った。

①社会科で重要文化財のビデオを視聴させて、生徒の興味・関心を高めた
②テーマやコースを決める際に、インターネットをフルに活用して調べ学習
③先生方から「おすすめ見学地」をインタビューしてまとめたものを廊下掲示
④コースが決まってからは、自分達の班行動コースの見学地紹介レポート作成
⑤旅行中に外国の方とコミュニケーションを取り、証拠の写真を撮る課題を与え、そのためのワンポイント英語講座をしおりに掲載
⑥俳句コンクールに向け作り方（季語と一日一句記録用紙をしおりに掲載）
⑦写真コンクールに向け上手な写真の取り方の実例紹介と説明
（ポイントをしおりにも掲載）
⑧しおり表紙絵コンテスト

しおりの表紙絵、裏表紙絵は自分で作ることとし、技術・家庭科の時間を使って作成した。作品を掲示して生徒と保護者に投票してもらい、コンテストを実施し、最優秀及び優秀作品が職員用の表紙裏表紙となった。表紙絵には見学予定地の写真を入れたり、手書きのイラストをスキャナで取り込んだりと、修学旅行への意欲や興味・関心など生徒の思いが盛り込まれ、一人一人違う表紙のしおりを持って「自分でつくる（作る・創る）修学旅行」をスタートさせることができた。

また、紙質も光沢紙を使って豪華に仕上げたため、旅行後も大事に扱っていた。

最優秀作品 →

(4) １８年度修学旅行の概要

スローガン『共感（きょうかん）しよう　友達（ともだち）と　長（なが）い歴史（れきし）を　未来（みらい）のために』

ア、日程

＜１日目＞

6:07		7:53	10:14	11:20	15:00	15:30		18:00
北鴻巣駅→	上野駅→	東京駅→	京都駅→	私のしごと館→		奈良公園…	自由行動…宿(奈良)	
[高崎線臨時列車]		［新幹線のぞみ］		［バス］」		［バス］		

＜２日目＞

8:30				18:00
宿出発（奈良）	→	班別自由行動（奈良、京都）	→	宿着（京都）
［近鉄／ＪＲ］				

＜３日目＞

8:20		13:57	16:16	17:12	18:14
宿出発→	クラス別行動→	京都駅 →	東京駅 →	上野 →	北鴻巣
	［バス］（北野天満・竜安寺・金閣寺コース）（古代友禅苑絵付け・東福寺コース）		［のぞみ］	[高崎線臨時列車]	

イ、平成１８年度修学旅行班別コース　〔5月２５日（木）奈良編〕

	15:30	16:00	16:30	17:00	18:00
1	東大寺大仏殿	国立博物館　興福寺			宿　ホテルサンルート奈良
2		興福寺			
3		興福寺			
4		興福寺			
5		戒壇院　興福寺			
6		国立博物館　興福寺			
7		三月堂　興福寺・五重塔			
8		鹿と触れ合う　興福寺			
9		興福寺　猿沢池			
10		興福寺			
11		三月堂　二月堂			
12		春日山　五重塔　興福寺			

〔5月２６日（金）京都編〕

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00
1	曼殊院　銀閣寺		清水寺　昼食		三十三間堂		晴明神社　二条城	
2	三十三間堂　清水寺		二年坂・三年坂		南禅寺　哲学の道		銀閣寺	二条城
3	銀閣寺　平安神宮		清水寺		昼食	建仁寺	三十三間堂	二条城
4	平安神宮　銀閣寺	南禅寺	知恩院	清水寺	昼食		三十三間堂　二条城	
5	平等院		三十三間堂　昼食	清水寺	高台寺	建仁寺	平安神宮	
6	曼殊院　銀閣寺		清水寺	昼食	建仁寺		晴明神社　二条城	
7	銀閣寺　哲学の道　南禅寺		知恩院・円山公園・高台寺・霊山観音・八坂の塔		清水寺	三十三間堂	西本願寺	二条城
8	渡月橋　天竜寺	三十三間堂	清水寺・地主神社	昼食		霊山歴史館・霊山神社		二条城
9	銀閣寺　哲学の道	清水寺	三十三間堂　昼食	京都駅	野宮神社		平野神社	
10	曼殊院　銀閣寺	昼食　哲学の道	南禅寺		二条城			
11	曼殊院　銀閣寺		清水寺　昼食		養源院　三十三間堂		二条城	
12	三十三間堂　清水寺		建仁寺	昼食	銀閣寺	南禅寺	永観堂	

ウ、個人と班のテーマ及びコースの関係

班編制は課題別ではなく、生活班とし、男女各６人の班長が立候補し、全体を考えて６ずつの小グループを作ってから、男女の班長が話し合って６つの班を編制した。これは

①修学旅行は中学校生活の延長であり、学習の場である

②総合的な学習の時間のテーマを優先させず、旅行的行事としてのカラーを重視

③旅行先での男女の協力も必要であり、その前後のクラス作りにも役立てるためである。

また、先に個人のテーマを決め、それを持ち寄ってなるべく各個人のテーマが生かせるような班のテーマ及びコースを話し合った。そうすることで、単なる京都を舞台としたオリエンテーリングにしないことと、総合的な学習の時間との両立を図った。

(5)キャリア教育と体験学習としての「私のしごと館」

ア、そのコンセプトと概要

２年次に職場体験をしたが、地元の受け入れ事業所だけでは生徒の希望やニーズに十分応えることができなかった。そのため、修学旅行のコースの中に「私のしごと館」を組み入れ、多種多様な職種の体験をさせたいと考えた。また、コンピュータで簡単に職業適性が診断できる講座も魅力的だった。さらに、現地に行かないとできない京都、奈良の伝統工芸も体験できるとあって、少ない時間で充実した体験ができると考えた。

イ、体験学習の一覧と実際に体験した講座　　＜１２：３０～１：３０ のコース＞

職種　（体験内容）	対象年齢	体験料	製　作　物	定員	参加者
宇宙開発	小学５年以上	無　料	なし（交信して作業）	１５	5
栄養士	〃	無　料	なし（栄養分析）	１６	2
ＴＶスタジオの仕事	〃	無　料	なし（ニュース番組作成）	7	
消防官	中学生以上	無　料	なし（消火）	6	
	小学５年以上	無　料	なし（車椅子介助）	２４	
雑誌編集の仕事	中学生以上	無　料	なし（雑誌誌面）	２５	3
プログラマー	〃	無　料	なし（プログラム穴埋め）	１８	5
美容師	小学５年以上	無　料	なし（ロット巻）	２４	
デコレーター	〃	無　料	なし（ｳｨﾝﾄﾞｳﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ）	6	
フラワーデザイナー	〃	３００円	フラワーアレンジ	6	
ピアノ調律師	小学３年以上	無　料	なし（調律、調整）	6	1
声優	〃	無　料	アフレコ	6	
ＣＧデザイナー	小学５年以上	無　料	３Ｄデザイン	6	
建築家	〃	無　料	家模型	6	
服飾デザイナー	〃	３００円	立体デザイン画	２４	1
機械工作の仕事	中学生以上	３００円	ドライバー	6	
大型製品組み立て（自転車）	〃	無　料	なし（組立、分解）	１８	4
大型製品組み立て（家具）	〃	３００円	ＣＤラック	２４	9
印刷の仕事	小学５年以上	３００円	メモ帳	8	
小型製品組み立て（玩具）	〃	３００円	リカちゃん人形	２４	5
小型製品組み立て（時計）	中学生以上	１０００円	時計	２４	
精密機械の組み立て(ﾊﾟｿｺﾝ)	〃	無　料	なし（パソコン組立）	6	
京焼き・清水焼	小学３年以上	３００円	絵付け湯のみ	１２	
京友禅（型押し）	小学５年以上	３００円	ハンカチ	１２	１２
西陣織	小学３年以上	３００円	テーブルセンター	１０	1
奈良茶道具	中学生以上	３００円	茶せん	１２	8
奈良筆	小学５年以上	３００円	筆	１２	1
京象嵌（きょうぞうがん）	〃	１０００円	携帯ストラップ	１２	1
合　　計				３７５	５８

（※料金は当時のもので、現在は値上がりしました）

リカちゃん人形製作

象　嵌

コンピュータ適性検査

ウ、利用してみて

①施設設備の充実と体験内容の豊富さ

「しごと体験」ゾーンだけでなく、趣向をこらした「しごと探索」「歴史・未来」「じぶん発見」「しごと情報」の展示ゾーンがあり、時間が足りない程広くて、多種多彩な情報にあふれ、働くことへの刺激がたくさんある参加体験型の施設だった。

②立地条件

京都、大阪、奈良の境界に位置し、関西文化学術研究都市（京都府　精華・西木津地区）にあり、そこから奈良公園まで約２０分くらいである。実際には１１：２０に京都駅に到着し、バスで約１時間。昼食休憩、体験と見学の２時間コースをすませ、１５：３０には奈良公園で写真撮影したあと、東大寺の見学や班別自由行動ができるコースが組めた。

＜私のしごと館へのアクセス＞

●道路　◎京都南ＩＣ～京奈和自動車道～ 60 分

◎奈良～Ｒ 24 ～木津ＩＣ～京奈和自動車道～ 20 分

●電車＆バス

近鉄京都駅

京都駅　⇒⇒　新祝園駅　⇒　奈良交通バス　⇒⇒　私のしごと館前
急行 30 分　　約 8 分

近鉄奈良駅

奈良駅　⇒⇒　大和西大寺　⇒⇒　新祝園駅　⇒　奈良交通バス　⇒⇒　私のしごと館前
急行5分　　急行10分　　約 8 分

③リーズナブルな料金

入館料中学生２５０円で、貴重な体験が市価よりずっと安く、あるいは無料で体験できた。世間で言われるように、採算を度外視した豪華設備で、職業のさわりを体験するとの批判はあるものの、職業啓発に与える効果は高い。また、製作物が思い出の品として一生の宝物になった。カメラの前で自慢げに作品を見せる生徒の笑顔が印象的だった。

④簡単コンピュータ診断で自己理解

新版職業レディネステストを一斉に行い、個々に結果が印刷されて持ち帰ることができた。インストラクターの説明で、初めてでも簡単に操作でき、結果をもとに友達と将来の職業や適性について大いに盛り上がった。そして、驚いたのは、検査終了後、不登校傾向のある生徒がたった一人で見ず知らずのインストラクターに質問に行く光景を見ることができた。それだけここでの体験が、自分の将来に対する意識を高めることができた証であろう。

(6)事後指導の充実

ア、修学旅行をふりかえって（抜粋）

修学旅行を振り返って

３年　　組　　番 氏名

１、修学旅行の委員会について					
委員・係名（　　委員・係）	役職・担当（　　）				
仕事の内容と頑張ったことを書いて下さい。	自己評価	A	B	C	D
２、修学旅行中の生活について					
・時間を守ることができましたか	自己評価	A	B	C	D
・服装はきちんとしていましたか		A	B	C	D
・持ち物のルールは守れましたか		A	B	C	D
・班員と協力することができましたか		A	B	C	D
・他の人に迷惑をかけませんでしたか		A	B	C	D
☆良くできたこと・頑張ったこと	***★反省点・改善点***				
３、見学場所について					
・印象に残った見学場所はどこでしたか。ベスト３を書いてください。 １位（　　）理由（　　） ２位（　　）理由（　　） ３位（　　）理由（　　）					
４、修学旅行中のエピソード（楽しいものは学年通信に載せる予定です。）					
５、修学旅行の感想					

各個人の振り返りを大切にし、反省よりも成果を、また次年度に向けた印象に残った見学地、おすすめスポットなどを書かせ、よいコメントは学年通信にも載せて紹介した。

・奈良の鹿は、鹿せんべいを上にあげるとおじぎをすると聞いていましたが、本当にしたのでビックリした。

・地元のおっちゃんは気さくで、よく道案内をしていただきました。おおきに！！

・竜安寺にある石を数えるのが１５コ中、１４コしか分からなかった。

・東大寺の仁王は大きくて感動。東大寺も大仏も、日本にこんなに古くて大きい建物があるのかあと感動しました。

学年通信　桜のたより

平成１８年６月２日（金）
埼玉中学校　第３学年
NO. 7

みんなで成功させた修学旅行

「５月２５日は５時２５分」に誰一人遅れることなく集合し、天候にも恵まれ充実した３日間を過ごし、全員無事に帰ってくることができました。準備の段階から実行委員を中心に短期間集中で取り組み、みんなの力で成功させた修学旅行の成果をこれからの生活に生かしていきましょう。

たくさんの素晴らしいこと

①参加予定者が全員参加でき、北陸高駅に無遅刻で集合できたこと
②３日間、事故なく全員が無事過ごせたこと。
③班別行動をトラブルなく充実した内容でやりきり、お互いに協力し合う場面がたくさん見られたこと。
④準備の段階から、実行委員・学級代表、班長が中心となり学年・学級・係をリードしたこと。
⑤委員や係の生徒が責任感あふれる行動をし、生徒の活躍が目立ったこと。

修学旅行おもしろエピソード　<2組編>

・地主神社がすごく可愛かったです。おみくじは凶だったので踏んできました。恋占いの石は、フラフラしちゃってわたれなかったです。でも、お守りも買ったり、お参りしたりして、とても楽しかったです。（　　さん）

・バスを待っているときに京都に住んでいるおじさんに話しかけられました。本当の関西弁が聞けて面白かったです。（　　さん）

・平安神宮でおみくじをやって凶だった。旅行はするなと書いてあってかなりショックを受けた。（　　君）

・よーじやカフェというところによりました。中は畳で、いかにも和風なカフェ。静かで、メニューもよく、穴場スポットです。（　　さん）

・奈良公園付近で子ジカを見れた。少し遠かったけどかわいかった。（　　さん）

・清水寺の清水の舞台から京都のまちなみを見たこと。（　　君）

（２組の残りの人や１組も順次載せていく予定です。お楽しみに）

イ、旅行後のまとめと発表について

修学旅行を思い出としてだけでなく、多くの学習の機会にするために、事後の指導にも力を入れた。自分で学んだこと、体験したことをまとめることができることはしっかりと学習できたという証でもある。また、いろいろな方法やメディアを使って表現する能力の育成は、これからの生徒に絶対不可欠なことであり、各教科で学んだことを実際に活かす場にもなる。さらに、お互いが相互に評価することで学習に深みを増すこともできた。

①個人新聞づくり（全員）

修学旅行で学んだことやわかったこと、みんなに伝えたいことを、自分たちが撮った写真やいただいたパンフレット等をはったり、イラス

②写真コンテスト

修学旅行らしさ部門やおもしろ写真部門などの３部門に、各班から１枚ずつ応募し、生徒の投票に加え、ＰＴＡで保護者にも投票してもらい、表彰した。

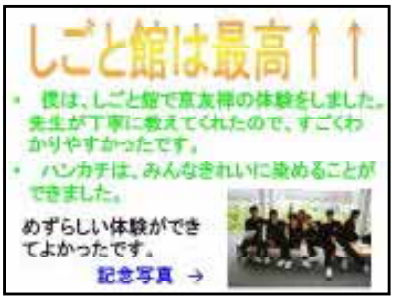
③俳句コンテスト

短冊形に切った色画用紙に一人一句書き、掲示したあと、審査した。学年集会の場で表彰した。

＜廊下掲示した俳句＞

④パワーポイントでプレゼンテーション（全員）

スライドの例



⑤総合的な学習の時間　全体発表会での発表（代表者のみ）

本校では昨年から各学年ごとに行われている発表会を全校の前でも発表し、成果を共有するだけでなく、保護者にも参観していただいている。これによって、３年間の見通しを持つだけでなく、先輩のすごさ、すばらしさも知ることができ、学びを高めあうことができた。

⑥卒業論文

３年間の総合的な学習の時間の総まとめとして、自分の興味・関心と将来を見すえ、学校全体のテーマ「共生」からより具体的な個人テーマを設定し、各自Ａ４版２（または４）ページの卒業論文を書いた。

＜後期総合的な学習の時間卒業論文のタイトル（抜粋）＞

環境	「ホタルが住める行田市」「美しい水を未来に残していくために」「地球との共生」 「美しい森をいつまでも」「今の地球環境を救うためには」「大気汚染をとめよう」 「今までの地球とこれからの地球」　「石油と共生」　「ペットと環境の共生」
福祉 健康 平和	「虐待はなぜ起きてしまうのか･･･」「身体障害者と補助犬」「飢餓問題について」 「私たちの食生活」「トイレの歴史と共生」「牛乳の身体への影響」 「戦争と核兵器」「戦争と平和　そして日本の防衛」
交流 国際	「違う宗教の人が社会に生きるには」「国際的なコミュニケーション」 「異文化を理解して共生するには　～各国のくらしを知ろう～」
歴史 文化	「世界遺産を守るためには」　「ファッションはどう変わってきたのか」 「音楽の持つ力で心を癒すには」　「私たちの生活と音楽」
科学 情報	「人とクローンの今後」　「これからの自動車と今の自動車」 「個人情報の流出を防ぐために」

(7)環境及び防災学習としての取り組み

ア、１７年度　環境やエネルギーの未来を見すえた愛地球博を取り入れた修学旅行

総合的な学習の時間の取り組みとして、２年次には地域のゴミ問題についてクリーンセンター見学やクリーン作戦を体験させた。３年次はテーマ「環境について考える（グローバルな視点に立って）　～地球から与えられた宿題～」の特別授業として外部講師を招聘し、消費生活アドバイザー　浅田浄江先生から「現在のエネルギーを取り巻く状況と２０年後の社会の変化について」の講話をいただいた。そして、修学旅行では愛地球博見学後、奈良、京都の旅を楽しんだ。

イ、１９年度　地震や災害に対する意識を高める奈良・京都・神戸の修学旅行

２年次に吹上（現鴻巣市）にある県立防災学習センターで体験学習し、地震や災害に対するテーマ学習を行った。３年次は２日目に京都の班別自由行動後、宿泊地の神戸集合とし、３日目に震災メモリアルパーク、人と防災未来センターの見学及び語り部の方の講話を取り入れた。

＜防災学習センターで地震体験＞

＜１９年度　修学旅行日程　５月２９日（金）～３１日（日）＞

＜１日目＞

5:55		7:53	10:30	12:00	14:40		16:00	17:40
北鴻巣駅→	上野駅→	東京駅→	新大阪駅→	法隆寺	→	奈良公園…自由行動→		宿（京都）
[高崎線臨時列車]		［新幹線のぞみ］		［バス］				［バス］

＜２日目＞

8:00			18:00
宿出発（京都）	→	班別自由行動（京都）	→ 宿着（神戸）

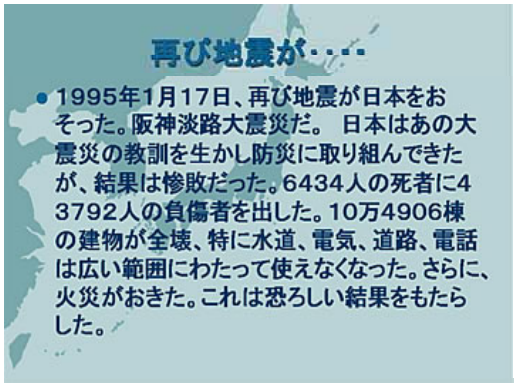
＜３日目＞

8:10	8:25	9:30	12:20	16:00	16:16	17:02
宿出発→	震災メモリアルパーク→	人と防災未来センター→	新大阪駅 →	東京駅→	上野→	北鴻巣着
	［バス］		［新幹線のぞみ］		[高崎線臨時列車]	

＜生徒の感想より＞

・３日目は、神戸の『震災メモリアルパーク』と『人と防災未来館』へ行きました。本当に地震があったの?というくらい、神戸の街は見事に復興していました。今までに防災センターなどで勉強したこととは何か違って、実際に地震のあった神戸は『地震』の恐ろしさがすごく伝わってとても悲惨なものでした。でも、とても勉強になったと思います。

・３日目は、主に震災についての学習でした。『震災メモリアルパーク』は、震災時にはひどい状況だったのに、行ったときには、とても綺麗に整っていました。『人と防災未来センター』では、震災時の細かい状況を教えて貰いました。『１．１７シアター』では、あまりにも怖い映像ばかりだったので、鳥肌が立ちっぱなしでした。でも、とても良い教訓になりました。



本校は「目に見える改革」をスローガンに、積極的な生徒会活動の取り組みが行われてきた。新聞にも取り上げられた能登半島地震救援募金に続き、修学旅行後に起こった新潟中越沖地震に、真っ先に復興のための義援金募金を呼びかけたのも、この学習と修学旅行の体験が生きていると思われる。

能登半島地震救援
行田・埼玉中が寄託
募金1万1940円
行田市立埼玉中学校（加藤茂高校長、生徒数1
72人）が26日、能登半島地震救援金として1万1940円を毎日新聞東京社会事業団に寄託した。06年の総合学習で、阪神大震災や災害について学習した3年生が能登半島地震での被害を知り、「被災者のためにできることを」と発案した。生徒会が中心になって今月中旬に5日間、玄関や各クラスへ呼び掛けて集めた。生徒会の大野萌子さんと山口由梨さんは「被災地には私たちと同じ中学3年生もいるでしょうし、受験勉強がきちんとできるように役立ててほしい」と話した。【金沢衛】
募金を寄託した大野萌子さん（左）と山口由梨さん
毎日新聞
4月27日(金)掲載

4、成果と課題

・総合的な学習の時間は行事のための時間ではないが、３年間の見通しを持ったテーマと体験的な学習を組み合わせることで生徒の学びを高めることができた。

・修学旅行にもテーマを持たせることで学びや体験の場としての付加価値を持たせることができ、コースに変化や目新しさを持たせることもできた。

・学習したことや体験したことが、帰ってからの学習や学校生活、進路選択、そして家庭生活にも活かされている。まさに「生きる力」の源になるような貴重な学習と体験の場となっていることは素晴らしいことだと思う。自分の住む地域や日本、そして地球の現在、過去、未来を考えさせることは大いに有効であると思われる。

・テーマをとるか、見学や観光をとるかのバランスが難しく、自己の課題を十分に解決するまで至らなかった。グループ作りとテーマ、コースづくりはじっくり時間をかけなければならない。

・私しごと館の希望申し込みが前年度中だったので、修学旅行の取り組みを２年次から企画し、準備を進めなければいけなかったのが大変であった。総合的な学習同様、長期的な見通しを持ち計画的に取り組まなければならないことを痛感した。